

第7回 人間文化研究情報資源共有化研究会プログラム

第7回人間文化研究情報資源共有化研究会・人文科学とコンピュータ研究会第96回発表会

- 主催 大学共同利用機関法人人間文化研究機構・研究資源共有化事業委員会
情報処理学会・人文科学とコンピュータ研究会
- 日時 平成24年10月12日(金) 14時～17時50分
- 会場 人間文化研究機構 国文学研究資料館 大会議室(2階)
〒190-0014 東京都立川市緑町10-3 当日連絡先(大会議室): 050-5533-9504
別添案内図をご参照ください。

○テーマ 人文科学研究資源の共有と利活用

○プログラム

13:30 受付開始

午前中は、同じ会場にて人文科学とコンピュータ第96回発表会開催(会員のみ参加)

14:00 開会挨拶

第一部 地域の歴史文化遺産情報の保全

14:05～14:45 西村慎太郎氏(国文学研究資料館)

「地域歴史資料と「移動する歴史資料たち」の問題を考える」

14:45～15:25 水本浩典氏(神戸学院大学)

「震災資料の保存と研究の必要性-なぜ、震災情報の集積が必要か-」

15:25～16:00 討論

ディスカッサント 長谷川伸氏(新潟市文化観光・スポーツ部歴史文化課)
奥村 弘氏(神戸大学)

16:00～16:10 休憩

第二部 新統合検索システムと研究情報資源共有化

16:10～16:50 山田太造氏(人間文化研究機構本部)・古瀬蔵氏(国文学研究資料館)・安達文夫氏(国立歴史民俗博物館)

「nihuINTにおける人文科学研究資源の探索支援」

16:50～17:30 古瀬蔵氏(国文学研究資料館)・相田満氏(同)・山田太造氏(人間文化研究機構本部)

「網羅性を重視した古事類苑データベース」

17:30～17:45 討論

17:45～17:50 閉会挨拶

○開催趣旨

人間文化研究機構・研究資源共有化事業委員会は情報処理学会・人文科学とコンピュータ研究会と共催して、研究情報資源の共有化推進、社会・地域の情報資産保全への貢献の在り方を、「人文科学研究資源の共有と利活用」のテーマのもとに考えるために、第7回人間文化研究情報資源共有化研究会を開催します。

人間文化研究機構では、東日本大震災直後より救援復興事業に参加し、国立民族学博物館で救援復興事業参加の報告会を今年3月に開催し、歴博からは昨年7月の被災地の博物館のシンポジウムの報告書を刊行しています。さらに、機構では、2012年度から、機構内外の諸機関・研究者と連携した「大規模災害と人間文化研究」を進めています。また、2011年12月開催の第6回人間文化研究情報資源研究会は東日本大震災に対応して「人間文化研究情報資源の保全と資源共有化の課題」をテーマに開催しました。今回の研究会は、第一部で阪神淡路大震災・東日本大震災の経験から大規模災害に関わる歴史的・現代的情報資源の保全に関わる問題を取り上げ、第二部では新統合検索システムとそれに参加するデータベースの事例として古事類苑データベース新システムを取り上げ、人文科学とコンピュータ研究会に参加される情報学の研究者の方々と人間文化研究の立場からの情報資源の保全・共有化の課題について考える場としたいと考えています。

○連絡先 人間文化研究機構 事務局企画課研究支援係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス2階
(TEL) 03-6402-9234 (FAX) 03-6402-9240 (Mail) shien@nihu.jp

人間文化研究機構 国文学研究資料館



所在地

〒190-0014

東京都立川市緑町 10-3 (国文学
大会議室 (2階))

電話・Fax

Tel: 050-5533-2605

Fax: 042-527-6264

多摩都市モノレール JR 東日本利用の場合

立川北駅からモノレール高松駅下車、徒歩約 7 分
または JR 立川駅から徒歩約 25 分

立川バスの場合

1. JR 立川駅北口 2 番のりば乗車の場合
「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩 0 分（「立川学術プラザ」バス停は始発から 16 時台のみ
運行）または「裁判所前」バス停下車、徒歩 3 分
2. JR 立川駅北口 1 番のりば乗車の場合
「市役所前」バス停、徒歩 3 分

自動車利用の場合

中央自動車道「国立府中 IC」から約 15 分
※無料駐車場有り